

【科目名】 心理療法序説		【担当教員】 大矢 薫 (メールアドレス) ohya@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー) 月曜日・水曜日～金曜日、9時～18時
【授業区分】 専門分野 (心理療法)	【授業コード】 6-36-2110-0-1	
【開講時期】 2・3年 後期	【選択必修】 必修	
【単位数】 2単位	【コマ数】 15 コマ	
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 「臨床心理学」「カウンセリング心理学概論」などの心理学の科目を履修していると、本講義の内容の理解が深まります。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 毎回プリントを配布します。授業を受けながら、もしくは授業後に空欄箇所を埋め、授業後はそのプリントを使って、一通り復習してください。		
【講義概要】 (目的) 心理療法を学ぶことによって、各心理療法の基本的な知識を理解し、また技法を実践することを目的とする。 (方法) 来談者中心療法、精神分析的な心理療法、認知行動療法を中心に解説していく。グループワークなどを行い、学んだ技法を実践することでさらに理解を深める。		
【一般教育目標(GIO)】 ・ 来談者中心療法、精神分析的な心理療法、認知行動療法などに関する基本的な知識・技法を身につける。 ・ カウンセラー、公認心理師になるための視点を獲得する。 【行動目標(SBO)】 ・ 授業に毎回出席し、与えられた課題に主体的に取り組める。 ・ 各講義で解説した心理療法の技法について説明することができる。		
【教科書・リザーブドブック】 ・ 毎回、プリントを配布する。		
【参考書】 ・ 諸富祥彦 『カール・ロジャーズ入門—自分が“自分”になるということ』 コスモスライブラリー (2,400円+税) ・ 馬場禮子 『精神分析的な心理療法の実践』 岩崎学術出版社 (3,200円+税) ・ 貝谷久宣・福井至 『図解 やさしくわかる認知行動療法』 ナツメ社 (1,500円+税)		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法)		

平成 26～28 年度入学者用

<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。 ・定期試験を実施する。 									
【達成度評価】		試験	小 テスト	レポート	成果 発表	実技	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合		70	0	0	0	0	0	30	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	70	0	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造の力	0	0	0	0	0	0	0	0
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	30	30
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の 運営方法		学修課題(予習・復習)		時間 (分)			
1	イントロダクション 心理療法とは何か?	講義		講義プリントの完成		30 分			
2	来談者中心療法① 来談者中心療法とは?	講義		講義プリントの完成		30 分			
3	来談者中心療法② 受容	講義		講義プリントの完成		30 分			
4	来談者中心療法③ 共感的理解	講義		講義プリントの完成		30 分			
5	来談者中心療法④ 一致	講義		講義プリントの完成		30 分			
6	精神分析的心理療法① 精神分析的心理療法とは?	講義		講義プリントの完成		30 分			
7	精神分析的心理療法② 転移	講義		講義プリントの完成		30 分			
8	精神分析的心理療法③ 防衛機制	講義		講義プリントの完成		30 分			
9	精神分析的心理療法④ 夢分析	講義		講義プリントの完成		30 分			
10	認知行動療法① 認知行動療法とは?	講義		講義プリントの完成		30 分			
11	認知行動療法② 思考を変える	講義		講義プリントの完成		30 分			
12	認知行動療法③ 行動を変える	講義		講義プリントの完成		30 分			

平成 26～28 年度入学者用

13	認知行動療法④ 感情を調整する	講義	講義プリントの完成	30 分
14	ポジティブ心理療法	講義	講義プリントの完成	30 分
15	まとめ	講義	講義プリントの完成	30 分

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。